

尾山台中学校だより

5月号

【教育目標】 ◎ 心を豊かにし、思いやりの気持ちをもとう。



○ 自ら学び、深く考えよう。

○ 強い意志と、健康な身体をもとう。

○ 協力して集団の質を高める努力をしよう。

令和5年5月10日

世田谷区立

尾山台中学校

3701-1171

「 支えあいの中で 」

副校長 波田野 明

入学式の桜の景色に替わって、新緑がまぶしい清々しい季節となりました。令和5年度のスタートからひと月が過ぎ、生徒たちも新しい学年・学級に慣れてきました。先日のゴールデンウィークではご家庭で一息ついたところだと思いますが、その間も部活動の大会や練習に汗を流す生徒の姿も多くありました。

初めまして、今年度、副校長として尾山台中学校に着任いたしました波田野 明です。この3月まで、杉並区立神明中学校で保健体育の教員として勤務していました。専門競技は柔道です。しかし、実はもう10年以上柔道から離れ、バスケットボール、野球部、バドミントン部、卓球部といろいろな部活動の指導に当たってきました。自分自身が部活動に支えられ、成長し続け、自信をもつことができたのも部活動があったからです。運動を通して子供たちのために貢献したいという思いから教師の道を選択し、今日を迎えています。生まれも育ちも東京世田谷。地元で異動し貢献できる喜びでいっぱいです。また、これからの尾山台中学校での新たな生活も楽しみです。

さて、令和5年度PTA総会が5月13日（土）に開催されます。PTA（=Parent-Teacher Association）の発祥は、100年以上前になります。1895年にアメリカの母親たちが自分たちの子供の教育や教育環境について話し合ったことが始まりだと言われています。その2年後にワシントンに2千人の母親が集まり大会が開かれ、更に11年後の1908年には、これらの保護者に迎えられて教員が参加した会がもたれたということです。

現在の社会は複雑化しています。経済的な支援、環境の整備を行うだけでなく、PTAが保護者・教職員の交流の場として子供たちの豊かな心、幸せのために多くの知恵を出し合い、コミュニケーションを深めていくことが、とても大切だと思います。

本校のPTA活動では、PTA会長さんをはじめ、保護者が役員、委員、係として関わり、尾山台中学校を支援していただいております。また、地域の方々からも多くの支援をいただいております。たくさんの方々の思いが学校を支えている。ということを強く実感しています。特に尾山台駅を降りるとすぐに、きれいに整備された石畳の商店街が広がります。近くには尾山台小学校、玉堤小学校、尾山台中学校、東京都市大学と数多くの学校があり、その商店街入り口のアーチには「入学おめでとう」の横断幕が掲げられ、新入生を街全体で歓迎し祝福してくれています。いろいろな方々に支えられ、私もあたたかく穏やかな気持ちにさせられました。尾山台中学校を支えてくださるすべての方々に、心から感謝申し上げます。

私自身も子供たちの明るい笑顔と元気な声に支えられ、教職員一同一丸となって思いやりあふれる教育活動をこれからも進めていきます。どうぞよろしくお願い致します。